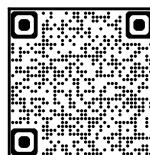


鳥海の子

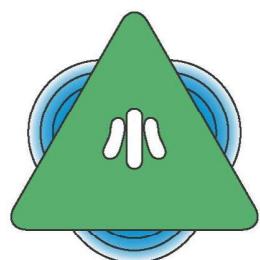
HP用
コード

～明るく・かしこく・たくましく～

令和7年度 学校報 No.41 文責 校長 吉田 **

コミュニティ・スクールだより

由利本荘市立鳥海小学校 令和8年1月23日



冬休み明けの15日に、全校で恒例の書き初めをしました。低学年は硬筆練習、中・高学年は毛筆練習を、冬休みの課題の一つとしていましたので、一人一人練習の成果をしたためようと真剣に取り組んでいました。

1年生は書写の授業で硬筆を取り組んでいますが初めての大会でしたし、3年生も毛筆での大会は初挑戦。また、6年生は

最後の大会ということで、それぞれに思いを込め集中して書き上げていました。もちろん、2年生や4年生、5年生にとってもお題のレベルが上がっていますし、半紙ではなく条幅であるため、大きく太く書くための筆づかいや制限時間にも注意を払いながら仕上げていました。

各学年の授業の中で、タブレットや電子黒板といったデジタル機器を効果的に活用している中、アナログだからこそ伝わる日本文化のよさを今後も大事にしていきたいものです。



左の写真は、12月25日に西松建設様が主催した「餅つき大会」での一枚です。32名の児童が参加しました。力強く杵を振り下ろしてついた餅を、自分の手で丸めて、あんこ・きなこ・納豆・砂糖醤油などを好みでつけたり、お雑煮にしたり。クリスマスプレゼントとして、西松建設マスコット人形やマスコットキャラクターが描かれたエコバッグに加え、数種類のお菓子もいただきました。

来年度以降も12月25日に継続開催していくということで、今回のように希望者でもいいですし、学年単位での親子レク(PTCR)

という参加の仕方でも構わないというお話をしました。直接参加してくださった保護者の方々や、終了後に迎えに来てくださった保護者の方々、大変ありがとうございました。

★次ページは、保護者や市民に広く公表するために届いた「本市内小学校6年生と中学校3年生が4月に実施した全国学力・学習状況調査の結果」です。

令和7年度 本市の全国学力・学習状況調査結果

1 調査の概要

本調査は、児童生徒の学力や学習状況を把握・分析し、学習指導の改善を図る目的で、平成19年度から実施されています。全国の小学6年生と中学3年生が対象で、今年度は令和7年4月14日から17日に実施されました。

2 調査の内容

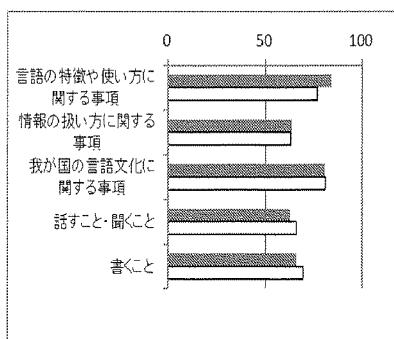
調査内容は、小学校は国語、算数、理科、中学校は国語と数学、タブレット端末を利用した理科が実施され、学習指導要領で育成を目指す、知識及び技能や思考力、判断力、表現力等を問う問題が出題されました。また、調査する学年の児童生徒を対象とした学習習慣や生活習慣等に関する児童生徒質問紙調査と、各学校の校長が回答する教育環境等に関する学校質問紙調査が実施されました。

3 本市の結果について（授業改善に生かすため、領域ごとにグラフでの比較としています）

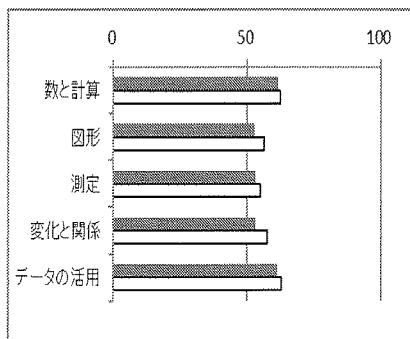
■ 由利本荘市

□ 全国

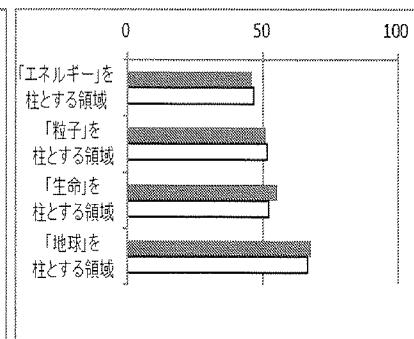
＜小学校国語＞



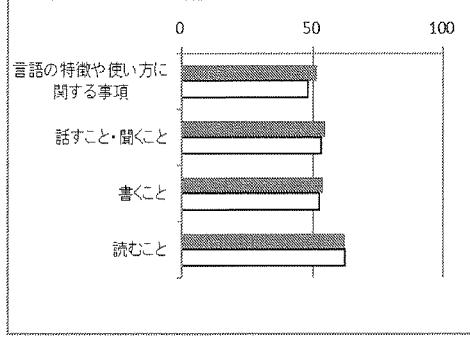
＜小学校算数＞



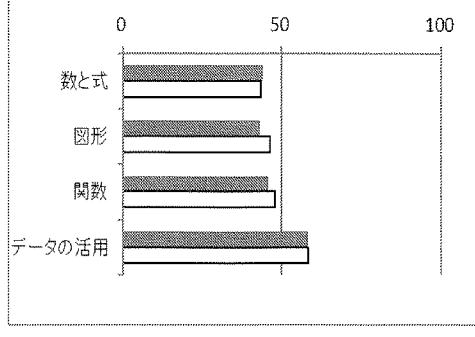
＜小学校理科＞



＜中学校国語＞



＜中学校数学＞



質問紙調査からは、小学校・中学校ともに、地域や社会をよくするために自分が何かしてみたいとの回答が昨年度同様、全国平均を大きく上回っていました。由利本荘市の地域を素材としたふるさと教育が児童生徒によりよく反映されていることが分かる結果となりました。その一方、1日あたりの学習時間は昨年度に続き減少傾向にあります。また、授業でのICTの活用については、4年連続増加していますが、全国と比較すると下回っている状況です。放課後の時間とICTのより有益な使い方について、さらに改善していく必要があります。